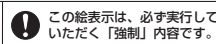
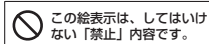


調整付棚受システムVT型 LED仕様ガラス棚板取付用棚受 VT-GL685-WTL, VT-GL685-WTR 取付・取扱説明書

このたびは調整付棚受システムVT型 をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
この製品は屋内用（一般居室、リビング用）です。屋外や水掛かりする所には使用しないでください。
取り付けの際は、この取付・取扱説明書をよくお読みのうえ、作業を行ってください。



施工前にこの説明書をよく読み、正しく施工してください。

- 本製品は屋内用（一般居室、リビング用）です。屋外や水が掛かる所には使用しないでください。
- 温度40℃以上、湿度90%以上の環境条件では使用できません。
- 棚受以外の用途には使用しないでください。
- 金具の取り付けは水平・鉛直が出ているか、金具のねじれがないかを必ずご確認ください。

安全上の注意 <けがや事故を防止するため以下の事項を必ずお守りください。>

- 運搬作業時は滑り止めの手袋を着用し、接着剤を使用する場合は十分な換気を心掛けてください。
- 引渡し前に工事管理者が必ず点検を行い、不具合がある場合は補修を行ってください。
- 取り付け可能な棚サイズは、幅 685～725mm×奥行 最大270mm×厚み 8mm
- 耐荷重については、棚板中心での荷重 98N(10kgf)を目安としてください。



施工前の確認

- 棚受金具Aが壁面に確実に取り付けられている事を確認してください。
- 棚受金具A以外への取り付けはおやめください。
- 棚受金具Aを取り付ける壁面の仕上がりを確認してください（鉛直・不陸[平らでないこと]など）。
- 加工前に部材の数量、きずの有無を確認してください。施工後のきずは、当社では責任を負い兼ねます。

使用上の安全についての注意

- 棚板に腰掛けたり、登ったり、もたれたり、体重を掛けたりしないでください。
 - 棚は差し込まれて、重量によって固定されているものです。棚に対して下から上に力を加えようと、棚板が外れて落下する危険があります。
 - 棚板の下に人が入らないようにしてください。
 - 不安定なものなど載せないようにしてください。けがや事故の原因になります。
 - 棚板に透明ガラスを使用する場合、ガラスの角や端部付近に、ガラスの存在を示す見やすい印を付けてください。人が気がつかずに衝突してけがをすることがあります。
 - 花瓶など倒れたときに水がこぼれるものは、置かないでください。
- また、何らかの原因で棚に水がこぼれた場合には、速やかに水をふき取って棚板奥の電気配線部分にしみこまないようにしてください。水が入ることによる故障は、保証外になります。

梱包内容の確認

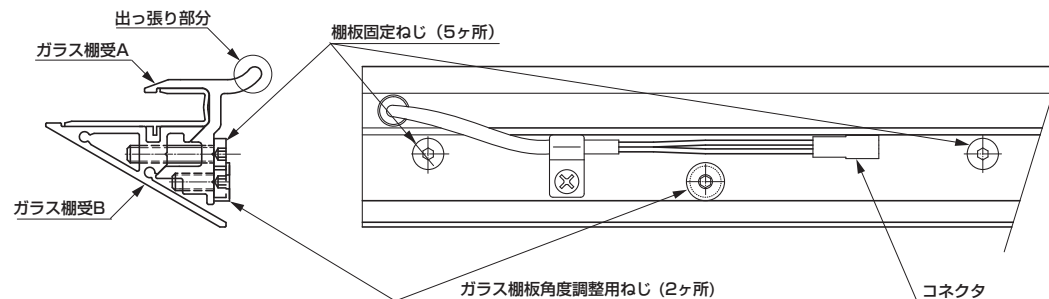
名称	入数	形状	名称	入数	形状
LED仕様ガラス棚板取付用棚受 (ガラス棚板用LED仕様) VT-GL685-WTL (コネクタ 左出し) VT-GL685-WTR (コネクタ 右出し) L=678	1		直流電源装置 定格 DC24V 1A	1	
エンドキャップ	左右各1		分岐付コネクタ	1	
六角棒スパナ 3	1		接続コード 2.5m	1	

分岐付きコネクタには、1個の電源で2個の金具まで接続できます。

故障や火災の原因になることがありますので、本金具にはDC24V1A 以外の電源を接続しないでください。

棚受詳細図

※下図はVT-GL685-WTR(コネクタ右だし)の場合を示します。
VT-GL685-WTLの場合はコネクタの出方が図示とは逆側となります。



本製品に関するご質問・ご相談は、お買い求めいただいた販売店、または下記の窓口にお問い合わせください。

アーキテクトサポート室 電話番号 **03(3864)1122**

受付時間 月～金 9:00～17:30 (年末・年始・夏季休暇等は除く)

FAX 03(3863)6875

E-mail: support@sugatsune.co.jp

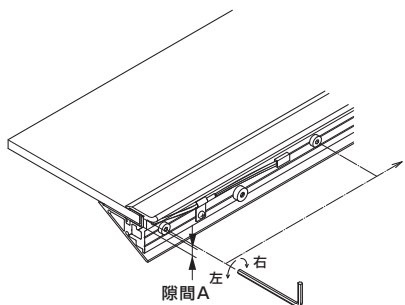
東京都千代田区岩本町2-5-10 〒101-0032

SUGATSUNE
LAMP 印の機能&デザイン金物メーカー

ISO 9001 (JSAQ384)・ISO 14001 (JSAE597) 審査登録
※ISO9001:国内各拠点 ※ISO14001:千葉事業部 千葉工場 および 物流事業部 物流センター
<http://www.sugatsune.co.jp/>

棚受の取り付け

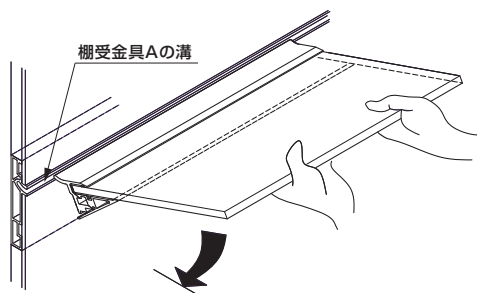
1. 棚板の仮固定



ガラス棚板固定ねじを六角棒スパナ3を使用して固定してください。
六角棒スパナ3を右に回すと隙間Aは狭くなります。

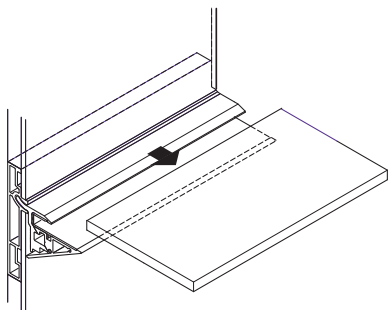
2. 棚板の取り付け

❗ 棚板の取り付けは必ず両手で行ってください。

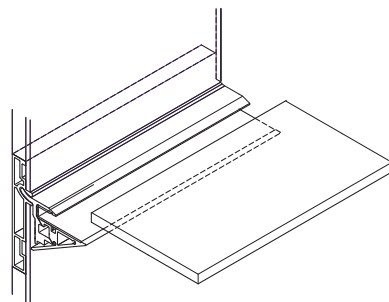
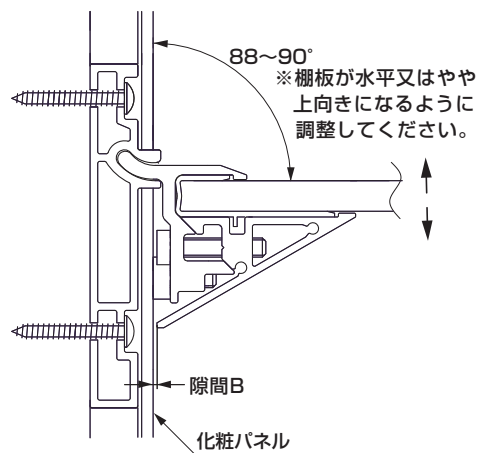


棚板を斜めにして、ガラス棚板Aの出っ張り部分を棚受金具Aの溝に差し込み、ガラス棚板角度調整用ねじが化粧パネルに当たるまでゆっくり降ろしてください。

3. レベルの調整



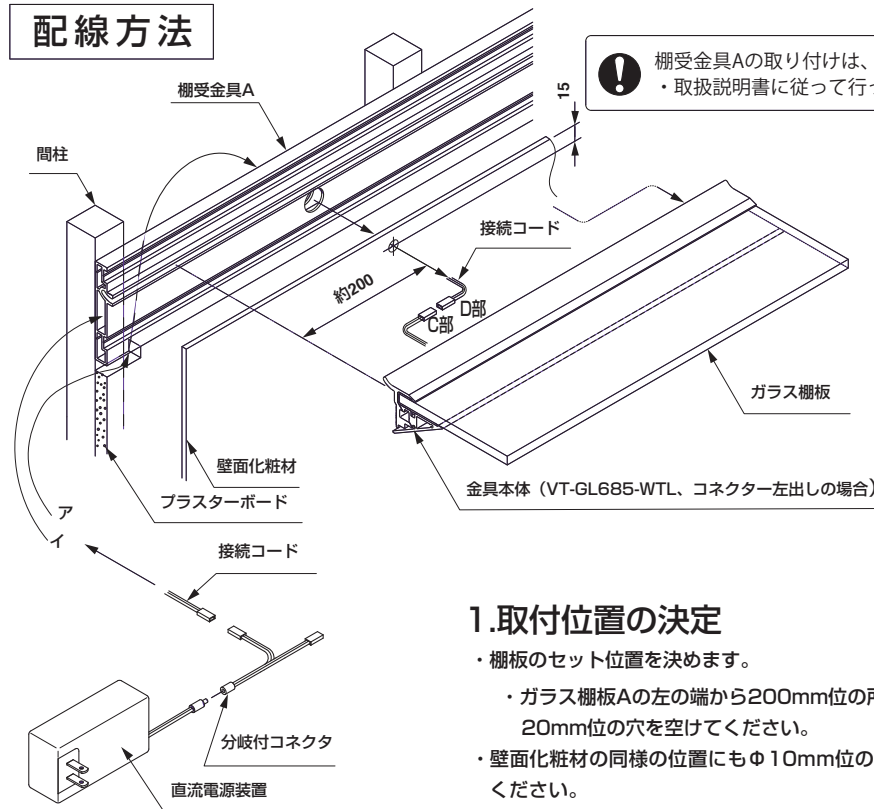
棚板の水平レベルが出ていない場合は、棚板を一度取り外してください。ガラス棚板角度調整用ねじを六角スパナで3で左に回すとガラス棚板の先端が上に傾く方向になります。ガラス棚板が水平またはやや上向きになり、更に、隙間Bが均一になるようにしてください。



❗ ガラス棚板を外す時は、取り付けの時と同様両手で一度外してコネクタを抜いてから移動させ、再びコネクタを接続し、セットしてください。

⊘ この時、金具でコネクタを押さないようにしてください。コネクタがつぶれると回路がショートして、火災などの原因になることがあります。

配線方法



❗ 棚受金具Aの取り付けは、棚受金具Aの取付・取扱説明書に従って行ってください。

1. 取付位置の決定

- ・棚板のセット位置を決めます。
- ・ガラス棚板Aの左の端から200mm位の所で棚受金具Aに20mm位の穴を開けてください。
- ・壁面化粧材の同様の位置にもφ10mm位の穴を開けてください。

2. 配線法

- ・電源コンセントの位置と、接続コードの通し方を下記の方法から決めてください。

ア：プラスターボードを切り欠き、そこに接続コードを通し棚受金具Aの裏側より穴に通しコネクタ（D部）を出します。

イ：棚受金具Aの中を通し穴からコネクタを出します。この時棚受金具Aの角で線材にきずなどを付けないように市販の絶縁材などで保護してください。

⊘ 電気配線は強く引っ張らないでください。コネクタや線の取り付け部で断線し、故障することがあります。

❗ 線材にきずなどがある場合は、電気工事に依頼して直してください。

- ・コネクタのC部とD部をつなぎ、コネクタが見えにくいように金具の後ろ側に隠してください。
- ・コネクタ、線材を金具で挟み込まないように、ガラス棚受を取り付けてください。
- ・通電し、棚板が光っていること、発熱などの異常がないことを確認してください。